

研究の概要

1 研究主題設定の理由

生き生きとした笑顔あふれる指っ子の育成

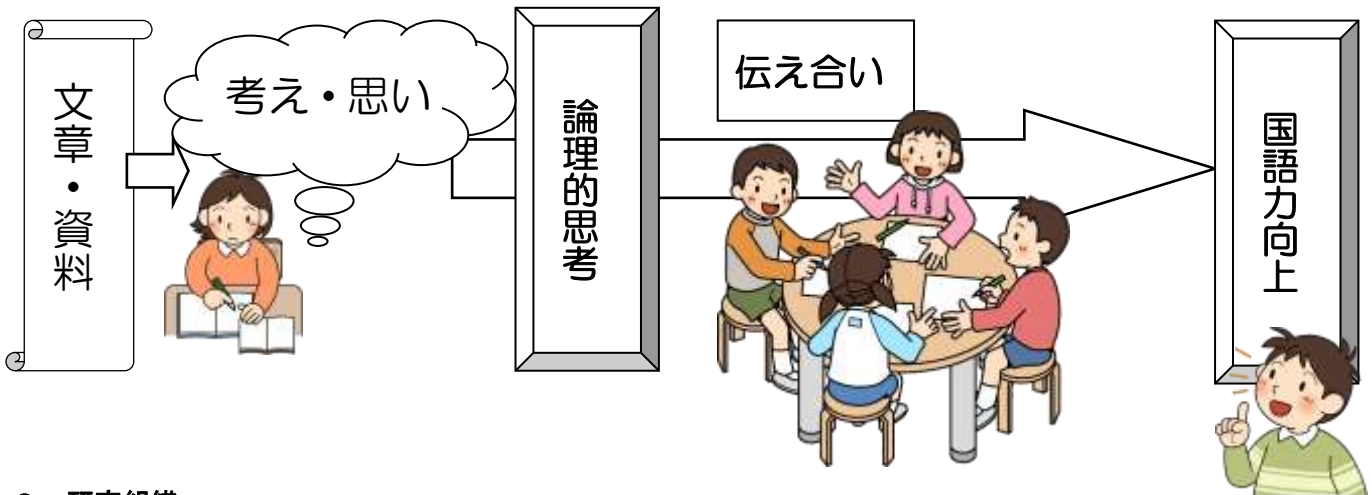
本校の児童は、優しく素直な児童が多く、与えられた学習課題に対して一生懸命に取り組む姿がよく見られる。しかし、

- 自分の思いや考えを、自分の言葉で表現することに苦手意識がある児童の割合が高いこと
- 自分の意見に自信がなく、意見の交流をしても内容の深まりがみられないこと

が課題として挙げられる。

これまでの研究の取組により、国語科においては、児童が単元のゴールをイメージしながら主体的に学習計画を立てることができるようになった。また、「登場人物の心情や場面の様子をとらえながら読むこと」、「発表を聞くとき、相手の考えをとらえ、自分の考えと比べながら聞くこと」について意識の高まりが見られ、自分の考えをもって意欲的に少人数での交流に参加する児童が増えてきた。しかし、個人差があり、全員が確実に自分の考えをもつことができていること、全体交流では、自分の考えを表現することがまだ難しい児童がいる等の課題が残った。そこで、本校では、国語力を「論理的に思考し、思いや考えをもつ力と思いや考えを豊かに伝え合う力」とし、国語科の中での国語力はもちろん、他教科（主に社会科）で生きる国語力の研究を深めていくこととした。以上のことから、基礎学力の定着を図り、豊かに伝え合う力を培う中で、生き生きとした笑顔あふれる児童を育成することを目標に上記の研究主題を設定した。

イメージ図



2 研究組織

